

総合的に生徒を伸ばす



産業社会と人間

総合学習

マナー実習



キャリア教育

総合学科ならではの
授業が盛りだくさん！



通学路
清掃



インタビュー
学習



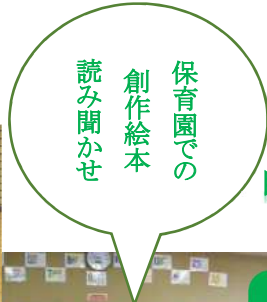
大学
企業見学



地域連携

地域を想う、
心を育む活動です。

三区合同
防災訓練



保育園での
創作絵本
読みかせ

探求

自分の夢を探し求め、



他校種連携

「絆」を深め
る機会を積
極的に設け
ています。

中高生
交流会

自分の
適性を発見し、

発見

特色ある
多彩な授業



ファッション基礎



手話



中国語



生活と福祉



身近な動物



100以上の講座から
「学びたい」をチョイス！

創造

自分の未来を創る。

令和元年度魅力ある県学校づくり大賞 応募概要(千葉県立八街高校)

1 産業社会と人間・総合学習

総合学科ならではの授業により、それぞれの適性を活かして「生きる力」を育んでいる。学び得た知識や技術は卒業後の就職先や進学先でも活かされており、生徒たちの自立につながっている。

体験的な学習を多く設定しており、講義だけではなく、実際に体験したり現場に赴いたりすることで、生徒は実践的なスキルを身につけている。また、社会人の方々から直接話を聞くことで現実を知り、自身の勤労観・職業観を養った上で科目選択を行い、進路実現に向けて努力できる能力が培われている。

2 地域連携

通学路清掃は1年次の5月と10月に行っている。三区合同防災訓練は生徒会、ボランティア部、有志の生徒たちが参加し、毎年5月に参加している。

地域の方々から「ありがとう」「がんばってるね」等のお声がけをいただき、生徒たちは「自分が役に立っている」という自信を持つことにつながった。地域活動を通して地元の良さを発見したり、逆に改善点を見出したりしながら、「地域のために自分は何ができるか」を考え、行動することで地域への愛着心を形成、深化している。

3 他校種連携

中高交流会は8月6日に実施した。実際に八街高校に通っている生徒たちのリアルな話を聞くことで、これまで持っていた八街高校のイメージが変わったという中学生もいる。逆に、本校生徒たちは八街高校を自分の口から語ることで自身の母校への想いに気づききっかけにもなった。そして、あるテーマについて中高異なる立場の子ども同士が語り合うことで、子どもたちの中でも互いに協力することが大切なのだという気付きがあった。

保育園での創作絵本読み聞かせは今年初めての取り組みで10月11日に国語表現の授業の一環として行われた。本校生徒は幼い子どもたちに頼られることで自己肯定感を高めることができた。自分たちが努力し工夫した成果が笑顔になって返ってくる経験は非常に貴重であり、生徒のマインドセットに良い影響を与えることができた。

さらに、学校同士の連携も強化され、連続した学びによって生徒の育成をはかる協力体制がより確かなものとなった。

取り組みを一回限りのもので終わらせることなく、連携を継続させる良い関係性が生まれている。

4 特色ある多彩な授業

外部の社会人講師と連携するなどし、他校にはない独自の講座を用意している。加えて、基礎学力の定着を図る講座や、より高度で専門的な知識を学ぶ講座もあり、生徒は幅広い選択ができるようになっている。

生徒たちが「やりたい勉強」ができるように選択の幅を広く設定すると同時に、就職・進学のどちらにも対応できるよう、生徒の将来を見越した科目設定や選択の指導に担任や教務が中心となって尽力している。

生徒の中には選択科目の受講がきっかけで進路を決定した者も少なくない。進路決定率 94.0%(平成 30 年度)という数字は生徒の主体性はもちろんのこと、主体的に学べる環境づくりがなされている結果だと言える。

以上のように、八街高校は千葉県初の総合学科としてその特色を生かし、生徒の「学びたい」を第一にした主体的で対話的な教育活動に力を入れている。考査の点数からだけでなく、様々な教育活動を通して生徒を総合的に評価し、個性を伸ばして多様な社会を生き抜く力を育てている。